

Full Bloom

No. 11
Full Bloom 「満開」

いざ、中体連後半戦へ!

今週・来週は、中学校最後の中体連総合大会です。どの部活動も、選手は全力で試合に臨み、部員全員で選手が実力を発揮できるように声援を送り、一丸となってがんばってきました。

ソフトボール部は、県北大会の日程が終了し、県大会出場切符を手に入れました。男子バスケットボール部・女子バスケットボール部、女子バレーボール部に加えて、男子ソフトテニス部の団体戦で17日(火)からの後半戦に挑みます。また、個人では、剣道部の山崎日南太さん、男子ソフトテニス部の中村陸人さん・氏家琉人さんペアが、県大会を目指して試合に臨みます。目指す目標は相手も同じです。自分と同じように、相手も緊張したり、不安になったりしているものです。ですから、より強く「絶対に勝つ！」

という思いをもったほうに、勝利の女神は微笑みます。苦しいときこそ笑顔で励ましあい、声を掛けあって勝利をつかみ取ってほしいと思います。



県立高校もウェブ出願へ

6月11日(水)の福島民報によると、2026(令和8)年春に実施する県立高校の入試から、インターネットを使ったWEB出願を導入するとのことです。すでにほとんどの私立高校では、WEB出願が実施されています。県立高校でも、各家庭でパソコンやスマートフォンから、出願や受験票印刷などを行い、検定料の納入はクレジットカード払いやコンビニ決済を見込んでいます。

詳細は10月に公表されますが、分かり次第、進路だよりなどでお知らせします。

ベスト16を懸けた戦い

山崎 日南太

僕は対戦相手の試合を見たとき、身長が僕より高く、体格もよく、勝てるか不安になってしまいました。でも、先生から「相手はスピードがないから、いつも通りやれば勝てるよ」と言われました。そこから不安が勇気になりました。そして、試合が始まって、自分から仕掛け技を出しました。相手が中途半端に出てきたところを、面で一本にすることができました。

次の試合は強敵ですが、県大会に行けるようにがんばります。

来週の予定

月日(曜)	1	2	3	4	5	6	行事等	給食	清掃	部活動
6/16(月)	月1	月2	月3	月4	月5	月6		○	○	○
17(火)	社会	数学	理科	英語			中体連総合大会 学年時間割(プリント学習)	△	×	○
18(水)	1組 社会	数学	英語	自習			学年時間割(授業)	△	×	○
	2組 数学	英語	社会	自習						
	3組 英語	社会	数学	自習						
19(木)	木1	木2	木3	木4	木5	木6		○	○	×
20(金)	金1	金2	金3	金4	金5		尿検査(二次) 職員会議	○	×	×

部活動がある場合は弁当持参

定期テストの準備OK?

今年度最初の定期テストに向けて、各教科の復習やワークなどの課題は順調に進んでいるでしょうか。運動部の生徒は、なかなか学習時間を確保するのが難しいと思います。しかし、ここで部活動と勉強を両立することで、受験が近づいてきた時に「あの時がんばれたんだから、今度もがんばれる」「あの時を思い出して、乗り越える」と、自分に自信をもつことができます。そこで今回は、先生方に「中学校時代に苦手だった教科とその時の勉強法」をインタビューしました。テストまであと10日。参考にして、テスト勉強をパワーアップしてほしいと思います。

実は歴史が苦手でした。

『三国志』などの本を読んだことが好きになるきっかけでした。歴史マンガも読み、興味をもって勉強するようになりました。【星先生】

理科が苦手でした。

とにかくワークをやって、問題文から解き方まで、まるごと覚えるようにしました。それでも分からなかったことは、先生に質問して理解するようにしました。また、You Tube などのショート動画も参考になりました。【西戸先生】

英語が苦手だったので、まずは単語から始めました。意味を調べて単語帳を作り、教科書の本文を自分で訳して覚ええました。

高校では数学に苦戦しました。予習をして分からなかったことを授業で解決することを心掛けました。

【川又先生】

苦手な英語は、集中して授業に取り組んで、その日のうちに復習しました。ワークも繰り返し解いて努力しました。

英語に限らず、分からない問題は、解答を見て解き方を覚えたり、「なぜそうなるのか」を考えたりしてマスターしました。【齋藤先生】

数学のテストで、予想より点数が低くてがっかりしたことがあります。「ワークもしっかりやったのに…」と思っていたら、高得点だった友達はワークを3回やっていたそうです。分かったつもりで、実は身に付いていなかった、と反省しました。【幕田先生】

苦手な数学は、問題をたくさん解くようにしました。受験勉強としては、薄い問題集を何冊も解きました(分厚い題集はページが進まなくてやる気がなくなる)。何冊もやることで、いろいろな種類の問題を解くことができました。【遠藤先生】

社会が苦手でした。

教科書を中心に勉強して、ワークを繰り返し解いて重要語句を覚ええました。友達と問題を出し合ったのも効果があったと思います。【野村先生】

国語は、「登場人物の気持ちを書きなさい」という問題が苦手です。勉強が進みませんでした。でも、漢字だけはノーマスで書けるまでしっかり練習しました。【吉田先生】

理科が苦手でした。

教科書をノートにまとめる時に、重要語句を赤ペンで書きました。赤シートを使って、繰り返し復習するようにしました。また、自分で「1問1答」の問題をつくって勉強しました。

【川名先生】

社会が専門教科の星先生・教頭先生ですが、どちらも中学校時代は「社会は苦手だった」とおっしゃっていたのに驚きました。そういえば、「中学校の苦手教科は英語」という英語の先生もいました。いろいろと工夫して勉強することで、[苦手]が[好き]や[得意]に変わっていくようです。好きな教科の勉強をして「やる気スイッチ」をオンにして、苦手教科の勉強にも取り組んでほしいと思います。まず1問、とりあえず10分！ 何事も、やってみなければ始まらないのです。おうちの方には、励ましのお声掛けをお願いします。

校長先生・教頭先生にもインタビューしました

【校長先生】

社会が苦手です。1年生のテストはあまり点数が取れませんでした。計画を立てて、それを実行するようにして、少しずつ覚えるようにしました。だんだん分かることが増えてきて、苦手意識がなくなりました。地道な努力が大切だと気付きました。

【教頭先生】

社会の地理は、暗記することが多く、好きではありませんでした。しかし、例えば「なぜここに『砂ばく(気候)』があるのか」などの疑問に対して、その理由が分かったら、だんだんおもしろくなってきて、勉強が進みました。